

当院透析室における下肢閉塞性動脈硬化症（ASO）の現況

医療法人はまゆう会王子病院¹⁾

医療法人はまゆう会相生リハビリテーションクリニック²⁾

三浦真由美¹⁾ 大谷麻岐¹⁾ 上野真紀¹⁾ 森徳広¹⁾ 渡辺千代子²⁾

箆島明彦¹⁾ 瀬川賀世子¹⁾ 田中孝夫¹⁾ 市丸喜一郎¹⁾

【はじめに】

透析患者の足病変は容易に重症化し、切断率も高く、患者の QOL に大きく影響を与える事となる。今回、当院における ASO 患者の現況調査を行ったので報告する。

【目的及び方法】

当院透析患者の ASO の現況を把握し、今後の患者指導への関わりを再考する。

当院維持透析患者 234 名中 ASO を有する群 50 名 と有しない群 184 名の 2011 年 8 月時点での年齢、性別、透析歴、糖尿病の有無、T-cho、TG、Alb、BMI の比較を行う。

【結果】

透析早期から ASO を合併している患者が多く認められた。

ASO を有する群の Alb 3.5g/dl 有しない群の Alb 3.8g/dl で有意差を認めた。

ASO を有する群と有しない群の Ca×P 積、T-cho、TG、BMI に関しては有意差を認めなかった。

【考察及び結語】

透析患者は栄養状態が悪いと、ASO を来たしやすいと考えられる。透析早期から ASO を合併している患者が多い為、栄養部その他部門と連携し早期からのフットケアの関わりが必要である。